



いたびつ
板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進

令和5年5月19日(金)発行

校長 栗原博巳

北九州市小倉北区白萩町8番1号

HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>

自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～

<目指す生徒像>

- ① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
- ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
- ③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
- ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

5月22日は「国際生物多様性の日」

熱中症事故未然防止の徹底について

このことについて、北九州市教育委員会生徒指導課より通知がありましたのでお知らせします。各学校では、令和3年4月28日から、全国で運用開始された「熱中症警戒アラート」を活用しながら熱中症事故の防止について、適切に対応しています【具合が悪くなった場合には、早めに活動を中止させ、適切な処置を行ったりする(救急搬送を含む)等、万全を期していきます】。生徒のみなさんは下記の事項に留意してください。

- ① 規則正しい生活(早寝・早起き、3食きちんと食べる等)を送りましょう。
- ② 学校に来るときは、水分は多めに持参し、喉が渇く前にこまめに水分補給をしましょう。
- ③ 屋外における活動の際には、原則帽子等を着用しましょう。

今週は全国的に気温が上がり、30℃を超える箇所も出ています。福岡県でも、昨日、暑さ指数(WBGT) 25℃以上の「警戒」が出されています。

小・中学校では、運動会・体育大会の練習、新体力テストの計測、部活動等が行われています。気温がこれまでより上昇し、かつ、暑さに体が慣れていないこういった時期に運動や屋外の活動を行うと、熱中症事故が発生する可能性が高くなります。

市内の学校は、下記の点に留意し、熱中症事故未然防止に努めていきます。熱中症は命に関わります。緊急の場合は救急車を要請します。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

- 「北九州市 学校における熱中症対策ガイドライン」を参考に熱中症事故未然防止対策を講じること。
- のどが渇く前に、こまめに水分補給をさせること。(教師が指示を出す)塩分補給が行えるよう経口補水液等を保健室などに常備しておくこと。
- 事前の健康観察及び活動中にも児童生徒の観察を行い、体調不良の児童生徒は運動を控えさせること。
- 体育や校外活動・部活動等の活動中はマスクをはずすこと。
- 室温が28℃以下になるように空調機器(冷房)を使用すること。(換気も行うこと)
- 気象情報や熱中症アラートを参考にするとともに、自校でも活動場所の暑さ指数を計測し、暑さ指数が「28℃」を超えた場所では激しい運動を中止すること。「31℃」を超えた場所では活動を原則中止すること。